



# TIFA会報

Tachikawa International Friendship Association

ホームページ <http://tifa-class.net/>

2017年3月16日

Vol.126

発行責任者 高藤 實

編集責任者 小林 保

外国人に日本語を教えるボランティア団体

## ☆☆TIFA 総会☆☆

TIFA 総会の開催日時が決定しましたのでお知らせします。  
TIFA の今後の活動を定める重要な会議です。ボランティア会員の方々は、必ず参加されますようお願いいたします。

開催日時：5月20日(土) 15:00~17:00

会場：柴崎会館 1階 多目的室(洋室)

(柴崎学習館ではありません)

議題：

- ・平成28年度 各部 活動報告/会計決算報告/監査報告
- ・平成29年度 予算案/各部 活動計画 他

## ☆☆土曜教室 節分☆☆

2月4日、土曜教室では恒例の節分が行われました。簡単に節

分の説明を行ったあと、ベトナム人受講生とボランティアの波多野さんが鬼に扮し、その鬼を相手に子供達も豆を撒き、節分気分を



味わいました。この日、初めて豆撒きという行事を知った受講生も多く、大喜びでした。

## ☆☆土曜教室の茶道体験会☆☆

2月25日(土)、茶道体験会を柴崎学習館地下の教室で開催しました。受講生には順番に6~8名テーブル席に着いてもらい、

TIFA ボランティアの長屋さんが簡単に茶道作法を説明した後、お手伝いに来て下さった女性と一緒に、お菓子を出し、お茶を点ててくれました。受講生は神妙

な様子でお茶を飲み、日本の文化を楽しんでいたようでした。



## ☆☆お好み焼きパーティー☆☆

2月26日(日)、TIFA 会員の懇親を兼ねてお好み焼きパーティーを開催しました。会場は曙町一南公会堂を利用させて頂きました。

11時より食材を準備し、広島風お好み焼きの手順を書いたレシピを見ながら作りました。各自、持参した飲み物を飲み、ギターやハーモニ



カに合わせ歌ったりして楽しい一時を過ごすことができました。今回のパーティーにご尽力下さった皆様方、どうも有難うございました。

## ☆☆木曜教室研修会☆☆

### 「ベトナムでの日本語教師体験談」

2月23日の午後、土曜教室の小林さんを講師としてTIFA 木曜教室研修会が開催され、内容はベトナムでの生活、ベトナム語と日本語の違い、来日する実習生等でした。

最近、TIFA でもベトナム人の学習者が増えており、今回の研修は非常に参考になりました。

日本語とベトナム語の違いとして、母音や子音の数、語順、助詞の有無、テンス(時制)の曖昧さ等あることを聞き、ベトナム人が日本語を学習することの大変さを知りました。

現地での交通手段はバス、バイク、タクシーで電車や地下鉄はないとのこと、バス便は多く安いけど運転手のマナーは悪く、渋滞時には勝手に経路を変更すること。しかし優しい人が多く、若者たちは年配者にバスの席を譲ってくれます。運転手のマナーの悪さは、ベトナム人の気性ではなく、教育すべき人材が十分でないことが原因でないかと語る講師にベトナムに対する温かい愛情を感じました。



# 海外出張の思い出

土曜教室 奥田正博

私は30~40才代にはしばしば海外出張に行っていました。1980~1990年代で主に欧米ですが行く時はいつも2~3週間



の一人旅。ロンドン、マンチェスター、ベルリン、パリ、チューリッヒ、サンフランシスコ、ニューヨーク・・・毎日移動です。

気楽な面もありますが大変な面も多いです。仕事はすべて英語であまり問題はないです

が、食事などの面では英語が通じない時は大変です。そんな体験をいくつかお話したいと思います・・・

## ビーフステーキ

あれはドイツの片田舎でしたね。面談が伸びてお昼を食べ損ねて田舎道をとぼとぼ歩いて食事のできるところを探し回り、やっと見つけた小さなレストラン、というか食堂。おじいさんのシェフ(?)が出て来てグーテンターク。

## ジャガイモ

カウンターに座って注文するのが一苦労。というのは、英語がまったく通じない! 「とてもお腹が空いています。

何か適当な食べ物が欲しいのですが・・・」いろいろと身振り手振りで話しても通じない!

最後は絵でも描いて、と思いマンガを描いたのですが絵を描くのは大の苦手。こちらは一生懸命ビーフステーキの絵を描いたつもり。シェフががってんして急いで裏から取り出してきたのが大きなジャガイモ!! 最後はとにかく何かを食べさせてもらい、満足して店を出しましたが、とにかく言葉が通じなくても「何か食べたい!」というこちらの意志と、「何か食べたそうだ、何とかしてあげよう!」という相手の意志があれば通じ合える、と感じた貴重な旅でした。

英会話でも日本語会話でも、文法が間違っているでも最後は通じればいいのだという信念はそういう体験から生まれたように思います。

## フランス・パリでも苦い思い出

あの頃のフランスではホテルのフロントの人でも英語で話しかけたらフランス語で返事する時代。レストランのメニューは文字と数字だけなのでフランス語のまったく分からない私などが一人で食事しようとするそれは、それは難儀でした。

何か注文しないと何も出て来ない、あせる、さて、と思案の挙句、考え出したのが、金額でおよその見当を付けるためフランスフラ

ンを円換算、概ね2000円から3000円あたりのものを頼めば何か適当な食べ物が出てくるだろう、食べられないものは無いし・・・

そんなことで何とか食べ物にありついて事なきを得たこともありました。

それにしても日本のレストランの写真付きのメニューは、日本人だけでなく外国の方にとってどれだけありがたいことかとしみじみと実感します。

今ではフランスでもかなり英語で対応してくれるようになったと聞きますが嬉しいことです。

## 最後はアメリカ

ちょっと恥ずかしいお話です。

シカゴの郊外で明日はいよいよ日本に帰れるという前夜。わくわくしながらステーキでも食べてみようかなと英語のメニューであれこれ選びました。

「そう前菜はマッシュルームのサラダかな、そしてステーキは小さめでもいい、後はケーキとコーヒーで締めてゆっくりしようかな・・・」ウェイトレスさんに頼んで最初に来たのがマッシュルームサラダ。

可愛い日本的な盛りでなく、その3~4倍位ありそうなたっぷりのアメリカ風マッシュルーム炒めの山盛りの盛り付け!見たとたんに「これは何だ!!」大きめの皿にマッシュルームの山。「これを一人で食べるの??」うんざりしながらフォークで運ぶ、が、なかなか減らない。

内心「これはステーキどころではないな、とても最後のデザートまでたどり着かない・・・」などと思って不安げにウェイトレスさんを見ると何となくにこにこしている。キャンセルは済まないなと思いつつ「Sorry, I would like to cancel ...because.....」ステーキもデザートもキャンセルしコーヒーをすすって早々退散した次第。

その時快くキャンセルを受けてくれたウェイトレスさんに聞いてみると彼女は「この日本人はそんなに量を頼んでもとても食べきれないだろう」と思ってステーキのオーダーをキッチンに告げず、様子をじっと見守っていたそうです。ですから私がキャンセルしてもちっとも慌てず「OK!」。前菜のマッシュルームだけで夕食を終えた苦い思い出です。

いやはやご当地の実体を知らなかったからいろんな苦い体験、恥ずかしい体験、冷や汗物の体験ですが、100%現地の言葉や文化は理解出来ないのだからあたり前です。

だからこそ異文化交流は大切だとつくづく思います。ある程度の知識があれば、会話で文法が合ってもなくてもOK、とにかく意志の疎通が出来ればいいのだ!!

これが拙い私の異文化体験です。

## 木曜教室のボランティア紹介

氏名：近藤 誠

男性 60代後半



- ・住所：立川市柴崎町
- ・TIFA 入会時期：2012年7月
- ・入会理由：私自身が外国語や外国人との付き合いが長く、自身の経験や知識などが何らかの形でお役に立てることが出来そうだと思います。

・日頃思う事：受講生はアジア各地から来ています。この柴崎学習館で巡りあうことに不思議な縁だと感じることがあります。何十年かの後に何かの折に、TIFA で学んだことがあった、と思いついて出してくれたいと思います。

・学習方法について：受講者、それも特に初級の場合は出来る限り身近な事柄、場所、名称、場面を使用して、覚えてほしい語句や表現の例文を提供するようにしています。

氏名：森 和子 女性 60代前半



- ・住所：立川市富士見町
- ・TIFA 入会時期：十数年前
- ・今まで教えた受講生について：中国（20代前半）の上級レベルの受講生を先生1人に対して2~3人で1年位教えました。仕事先がまだ決まっていず就活状態だったので、彼らの質問に答える形で話題を広げて話をしました。

韓国（40代）の超ハイレベルの受講生を1対1~2で2年位教えました。日本の小説が読みたいというので文庫本を買ってもらい、一緒に読んでゆき、質問に答えるようにしました。武者小路実篤「友情」、有吉佐和子「華岡青洲の妻」。

中国・フィリピン（40代~50代）の中級レベルの受講生を1対2~3で教えました。生徒が教材としてマンガ本を持ち込んだので、それを使って話をする形で進めました。

氏名：山下 良子

女性 60代前半



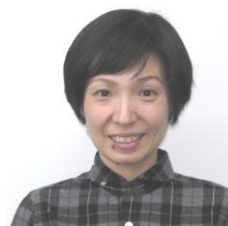
- ・住所：立川市柴崎町
- ・TIFA 入会時期：約20年前頃
- ・入会理由：子供の手が離れ、時間ができ、何か人と関わる事がしたかったので。
- ・今まで教えた受講生について：韓国の30代前半の女性を約4年、フィリピンの30代前半の女性を約3年、オーストラリアの40代前半の男性を約1年教えました。

・どのように教えているか、教えたか：

初級レベルの方は、1対1で教え、中上級の場合は、1対2あるいは複数（3~4）の場合もありました。主にみんなの日本語を使いながら、受講生のニーズに合わせ、子供さんの学校のお知らせや、その時々トピック、ご本人の話したい話題などを入れて、できるだけ、受講生が話す時間を取るよう努めています。生徒さんたちが、それぞれ自分の国や家族のこと、考えなどを自分の言葉で一息懸命話してくれるのが、新鮮で、私自身も新しく知ることが多く、楽しく日本語の勉強をしています。

氏名：鴻地 昌代

女性 40代前半



- ・住所：立川市上砂町
- ・TIFA 入会時期：2011年
- ・入会理由：私は子供の頃から言葉に興味があり、ポケットサイズの国語辞典を持ち歩いたり、あいうえお作文を作るのが好きで、いつか日本語に関

わることがしたいと思っていました。

・教室で心がけていること：入会当初は教えるスキルがなく悩みましたが、齋藤会長が「教科書だけが勉強ではない。受講生の求めることにあなたなりに応えれば良い。」と言って下さったので、その言葉を胸に勉強法を探るようにしています。受講生には、いつか日本で生活した事を楽しかったと思ってほしいので、笑顔を絶やさず授業をするように心がけています。そして、老若男女、国籍を問わず、仲の良い友人にも初対面の外国の方にも同じ笑顔を向けられる日本人になることが私の目標です。

## 西砂教室の近況

西砂教室 佐藤公男

松中小学校から会場を西砂学習館に移して1年2ヶ月がたちました。移転当初は受講生増が暫くありませんでしたが、一年を過ぎたここ一ヶ月で10名の新規受講生がありました。一方、講師は平均16名の出席で横ばいです。

3月4日は受講生26名、講師13名の出席で、講師不足が顕著となりましたので、広報等を使っての講師募集を再開します。写真はスリランカの皆さんです。手で4を示しています。なぜでしょう。

答え：2個+2個=4（西砂教室の談話より）



## 「外国人支援のための防災訓練」に参加して

土曜教室 木下 究

去る1月20日、東京都の主催する「外国人支援のための防災訓練」が、駒沢オリンピック公園・体育館で実施されました。

私は、防災（語学）ボランティアとして3年ぶりにこの訓練に参加しましたので、簡単に報告をさせていただきます。

阪神・淡路大震災後、政府は、毎年1月17日を「防災とボランティアの日」、1月15日から21日までを「防災とボランティアの週間」と決めました。東京都は、この週間に合わせて、2006年度から毎年1月下旬に「外国人支援のための防災訓練」を実施



しています。今年度で11回目の開催となりました。当日は、50カ国をこえる在日大使館の職員の方々や、

インターナショナルスクール、語学学校の生徒さんたちなど、300名を超える方が参加しました。われわれ語学ボランティアがアテンドし（私はコートジボワール大使館の動物・水産物担当の獣医さんをアテンドしました）、東京消防庁や玉川警察署の協力を得ながら、救出・搬送・応急救護訓練や電話問い合わせ訓練を

行い、起震車で震度7を体感してもらい、短時間ながら避難所体験もしてもらうという内容でした。

今後30年以内に70%の確率で首都直下地震が起きると言われています。このような災害が発生したときには、日本人も外国人もありません。被災者には、国籍にかかわらず迅速な支援が必要です。しかし、来日するまで地震を経験したことのない在日外国人が約4割にのぼるとされており、東日本大震災で初めて地震を経験し、パニックになった人も多かったと伝えられています。

したがって、災害時に備え、日ごろから外国人の方々に防災に関する普及啓発を心がけなければなりません。また、十分な日本語の力を有していない外国人の方にとって、地震情報や行政用語は専門用語が多く、理解するのが難しいと思われるので、「やさしい日本語」による情報提供にも努めなければなりません。

東京都では、このような訓練を実施するほか、災害時には東京都地域防災計画に基づいて「外国人災害情報センター」を開設するとしています。しかし、市区町村での外国人に向けた防災の取り組みは、まだまだ不十分です。在住外国人が都内最多の新宿区では、防災訓練と国際交流イベントを重ね合わせた「多文化防災フェスタしんじゅく」を開催していますし、大使館が多く集まる港区では、区独自で「国際防災ボランティア」の登録を行っています。しかし、このような取り組みを行っている自治体は少数にとどまっています。

立川では、市役所の協働推進課、たちかわ多文化共生センター、そしてTIFAが協力・連携して、防災講演会や、立川防災館での地震体験や応急救護訓練に取り組んでいます。地味だけれども大切なこのような取り組みを、これからも継続していただければと願っています。

## ☆TIFA 会員動向☆

(敬称略)

### 【入会者】

木曜、西砂：なし

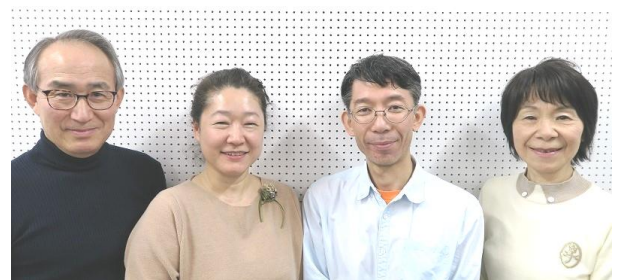
土曜：片山真理子、高田史子、味香建夫  
大西一光、大西美香

### 【退会者】

木曜、土曜、西砂：なし

### 【休会者】

木曜、土曜、西砂：なし



(左から 味香建夫、大西美香、大西一光、片山真理子)

## ☆☆今後の予定☆☆

土曜教室 スピーチ大会：3月25日（土）

木曜教室 新年度の開講式：4月6日（木）

土曜教室 新年度の開講式：4月8日（土）

西砂教室 新年度の開講式：4月1日（土）

TIFA 総会：5月20日（土）